

医学教育分野別評価

2021 年度 年次報告書

医学教育分野別評価の受審：2018 年度（平成 30 年度）

受審時の医学教育分野別評価基準日本版 Ver. 2. 2

本年次報告書における医学教育分野別評価基準日本版 Ver. 2. 32



令和 3 年 8 月

宮崎大学医学部医学科

はじめに

本学医学部医学科は、2018年に日本医学教育評価機構による医学教育分野別評価を受審し、2019年6月1日より7年間の認定期間が開始した。医学教育分野別評価基準日本版 Ver. 2.32 を踏まえ、2021年度の年次報告書を提出する。

なお、本年次報告書に記載した教育活動は、日本医学教育評価機構の作成要項に則り、2020年6月1日～2021年5月31日を対象としている。また、重要な改訂のあった項目を除き、医学教育分野別評価基準日本版 Ver. 2.32 の転記は省略した。

1. 使命と教育成果

改善した項目

1. 使命と教育成果	1.3 学修成果
基本的水準	判定：部分的適合
改善のための助言	
学修成果を周知するような取り組みを実施すべきである。	
改善状況	
「医学研究者育成コース」及び医学科3年生の「研究室配属」で得られた学修成果を周知する「研究成果発表会」の充実をはかり、継続的に実施した。	
今後の計画	
今後も学修成果を周知する取り組みを展開していく。	
改善状況を示す根拠資料	
【資料 1】令和2年度：医学研究者育成研究発表会プログラム	

2. 教育プログラム

今後改善が見込まれる項目

2. 教育プログラム	2.1 プログラムの構成
基本的水準 判定：部分的適合	
改善のための助言	
シラバスを充実させ、学生にとって使いやすいものにすべきである。	
現在の状況	
全ての医学科専門科目を対象に、シラバスの「全項目記載」を完了した。科目担当教員は、開講前にシラバスの成績評価方法欄に設定されている「評価手段」や「実施内容」「評価比率」「学習目標との対応」を記入し、成績評価方法を学生にしている。	
今後の計画	
今後もシラバスを充実させ、学生にとって使いやすいものに改善していく。	
改善状況を示す根拠資料	
【資料 2】シラバス記述状況	

改善した項目

2. 教育プログラム	2.5 臨床医学と技能
基本的水準 判定：部分的適合	
改善のための助言	
臨床実習で経験すべき疾患・症候・病態をシラバスに明示し、すべての学生が学修成果を達成できる臨床実習を構築すべきである。	
改善状況	
臨床実習（クリニカル・クラークシップⅠ・Ⅱ）がスタートする前に、オリエンテーションを実施。臨床実習で経験すべき疾患・症候・病態を明記したガイドブックを配布して説明を加えた。さらに、シラバスには各診療科の実習内容や到達目標を記載し、全診療科において全項目の記載と公開が完了している。	

今後の計画
臨床実習専門委員会を中心に、診療参加型臨床実習の充実に取り組む。
改善状況を示す根拠資料
【資料 3】 クリニカル・クラークシップ I 要項 【資料 4】 クリニカル・クラークシップ II 要項 【資料 5】 クリクラ I・II：オリエンテーション日程表

改善した項目

2. 教育プログラム	2.5 臨床医学と技能
基本的水準	判定：部分的適合
改善のための助言	
「早期大学病院実習」、「早期地域医療実習」、あるいは「公衆衛生学実習」など、患者・住民と接するすべての実習前にワクチン接種を徹底すべきである。	
改善状況	
新型コロナワクチン接種を実施し、医学科全体（1～6年生）で接種率「95.2%」を得ることができた。	
今後の計画	
新型コロナウイルスを含め、ワクチン接種の徹底をはかる。	
改善状況を示す根拠資料	
【資料 6】 令和3年度：新型コロナワクチン接種	

改善した項目

2. 教育プログラム	2.5 臨床医学と技能
基本的水準	判定：部分的適合
特記すべき良い点（特色）	
地域医療に主眼を置いたカリキュラムを実践していることは評価できる。	

改善状況
宮崎県児湯郡都農町と締結した連携協定に基づき、クリニカル・クラークシップⅡにおける「長期滞在型地域医療実習」（滞在期間＝12週間）を開始した。
今後の計画
引き続き、地域医療に主眼を置いたカリキュラムの充実に注力していく。
改善状況を示す根拠資料
【資料 7】長期滞在型地域医療実習

改善した項目

2. 教育プログラム	2.6 プログラムの構造、構成と教育期間
基本的水準	判定：部分的適合
改善のための助言	
学生がより学びやすいように、科目の順序や科目間のバランスを見直したカリキュラムを構築し、明示すべきである。	
改善状況	
4年生「臨床診断学」の領域設定と担当診療科を見直し、再編成を実施した。	
今後の計画	
引き続き、バランスのとれたカリキュラムの構築に取り組む。	
改善状況を示す根拠資料	
【資料 8】M4臨床診断学（診察実習）日程表	

3. 学生の評価

改善した項目

3. 学生の評価	3.1 評価方法
基本的水準 判定：部分的適合	
改善のための助言	
成績評価に対しての疑義を組織として対応する仕組みを構築し、学生に周知すべきである。	
改善状況	
「成績評価に対する異議申立てに関する申合せ成績評価に対する異議申立てに関する申合せ」を策定。新年度の学年別オリエンテーションで説明資料を配付の上、履修細則の改定とあわせ学生に周知し、運用を開始した。	
今後の計画	
成績評価に対しての疑義を組織として対応する仕組みを確立していく。	
改善状況を示す根拠資料	
【資料 9】 宮崎大学医学部専門科目の成績評価に対する異議申立てに関する申合せ 【資料10】 宮崎大学医学部履修細則 【資料11】 医学部在学生オリエンテーション日程表 【資料12】 オリエンテーション配布資料	

改善した項目

3. 学生の評価	3.1 評価方法
基本的水準 判定：部分的適合	
改善のための助言	
評価方法の信頼性と妥当性を組織的に検証し、明示することが望まれる。	
改善状況	
「成績評価に関する申合せ」を制定。科目担当教員は、開講前にシラバスの成績評価方法欄に設定されている「評価手段」「実施内容」「評価比率」「学習目標との対応」を記入し、成績評価方法を学生に開示することを定めた。	

今後の計画
評価方法の信頼性と妥当性を組織的に検証し、明示する取り組みを継続する。
改善状況を示す根拠資料
【資料13】 宮崎大学医学部専門科目の成績評価に関する申合せ

改善した項目

3. 学生の評価	3.1 評価方法
基本的水準	判定：部分的適合
改善のための示唆	
新しい評価法の導入を促進することが望まれる。	
改善状況	
Google<Classroom>を活用し、定期試験の受験要件にも含まれる講義・実習の出席回数を把握する新たなシステムを導入し、2020年10月に本格運用を開始した。	
今後の計画	
ICTを活用しながら、新しい評価法の導入を促進していく。	
改善状況を示す根拠資料	
【資料14】 Web出席確認・授業評価_操作説明（教員用）	

改善した項目

3. 学生の評価	3.2 評価と学習との関連
質的向上のための水準	判定：部分的適合
改善のための示唆	
評価結果を適切に開示し、具体的、建設的、公正で時機を得たフィードバックをすべての学生に行い、学生の学修を促進することが望まれる。	

改善状況
成績評価基準を明確にするため、履修細則の一部を改正した。
今後の計画
評価結果を適切に開示し、具体的、建設的、公正で時機を得たフィードバックをすべての学生に行う取り組みを進める。
改善状況を示す根拠資料
【資料15】 医学部履修細則の一部改正

改善した項目

3. 学生の評価	3.2 評価と学習との関連
質的向上のための水準	判定：部分的適合
改善のための助言	
統合的学修をより推進するために、試験の回数と方法を適切に定めることが望まれる。	
改善状況	
3年次に開講される基礎医学科目の試験について、従来の本試験から半年近い間隔が開く再試験日程を変更し、本試験から数週間後に再試験を実施し、学習の効率化と学生の負担軽減をはかった。これに伴い、3年次の進級判定時期を見直し、新年度の学年別オリエンテーションで説明資料を配付の上、学生に周知した。	
今後の計画	
今後もアンケート調査や学修成果の動向も参考に、試験の回数と方法を適切に定めていく。	
改善状況を示す根拠資料	
【資料12】 オリエンテーション配布資料 【資料16】 進級判定時期変更	

4. 学生

改善した項目

4. 学生	4.1 入学方針と入学選抜
基本的水準	判定：適合
改善のための助言	
なし	
改善状況	
地域枠で入学した学生等を対象とした「キャリア形成プログラム」の導入を契機に学校推薦型選抜の枠組みを「地域枠A」、「地域枠B」（拡充：宮崎県の高等学校を卒業後2年以内＝2浪生までを対象）、「地域枠C」（新設：宮崎県を含む全国の高等学校卒業後2年以内＝2浪生までを対象）に改編し、地域枠定員を25名から40名に増員した。	
今後の計画	
今後も学生の選抜方法を見直し、改善に努めていく。	
改善状況を示す根拠資料	
【資料17】令和4年度以降の地域枠の名称について	

改善した項目

4. 学生	4.3 学生のカウンセリングと支援
質的向上のための水準	判定：適合
改善のための示唆	
地域枠学生のキャリアガイダンスをさらに充実することが期待される。	
改善状況	
1) 宮崎県と連携した「宮崎大学医学部地域枠・地域特別枠・地域貢献枠：全体ミーティング」を開催し、宮崎県キャリア形成プログラムに関する説明と質疑応答がなされた。 2) 宮崎県と連携した「地域枠・特別枠学年リーダー顔合わせ及びミーティング」を開催し、宮崎県キャリア形成プログラムに関する情報共有と意見交換がなされた。 3) 地域枠・地域特別枠・地域貢献枠の学生を対象に、宮崎県地域医療支援機構：大学分室の医師による個別面談を実施している。	

今後の計画
キャリア形成プログラムの充実をはかりながら、地域卒学生のキャリアガイダンスに注力していく。
改善状況を示す根拠資料
【資料18】 全体ミーティング次第 【資料19】 地域卒・特別卒学年リーダー顔合わせ及びミーティング議事要旨

5. 教員

改善した項目

5. 教員	5.2 教員の活動と能力開発
基本的水準	判定：部分的適合
改善のための助言	
教員の教育活動を確実に評価すべきである。	
改善状況	
令和2年度宮崎大学教員教育活動表彰で、医療人育成支援センター講師一名が表彰を受けた。	
今後の計画	
引き続き、教員の教育活動を確実に評価する制度の充実をはかる。	
改善状況を示す根拠資料	
【資料20】 令和2年度宮崎大学教員教育活動表彰通知	

6. 教育資源

改善した項目

6. 教育資源	6.1 施設・設備
基本的水準 判定：部分的適合 教育実践の発展に合わせて施設・設備を定期的に更新、改修、拡充し、学修環境を改善すべきである。	
改善のための助言	
なし	
改善状況	
「講義・実習」及び「サークル・課外活動」備品購入/修理関連経費の執行手続きを整備し、教育実践の発展に合わせて施設・設備を定期的に更新、改修、拡充し、学修環境を改善するシステムを整備した。	
今後の計画	
引き続き、教育実践の発展に合わせて施設・設備を定期的に更新、改修、拡充し、学修環境の改善に取り組む。	
改善状況を示す根拠資料	
【資料21】教務関連経費	

改善した項目

6. 教育資源	6.1 施設・設備
基本的水準 判定：部分的適合	
改善のための助言	
患者および学生の安全のために、患者と接するすべての実習前にワクチン接種を徹底すべきである。	
改善状況	
新型コロナワクチン接種を実施し、医学科全体（1～6年生）で接種率「95.2%」を得ることができた。	
今後の計画	
新型コロナウイルスを含め、ワクチン接種の徹底をはかる。	

改善状況を示す根拠資料
【資料6】 令和3年度：新型コロナワクチン接種

改善した項目

6. 教育資源	6.6 教育の交流
基本的水準	判定：部分的適合
改善のための助言	
国内の他の教育機関との交流を積極的に進めるべきである。	
改善状況	
東京慈恵会医科大学と包括的連携協定を締結し、2020年度（令和2年度）から臨床実習生の交換を開始し（2020年度は新型コロナウイルス感染の影響で中止）、2021年度以降も実習生の交換を継続していく。	
今後の計画	
東京慈恵会医科大学以外にも、他の教育機関との交流を積極的に進める。	
改善状況を示す根拠資料	
【資料22】 東京慈恵会医科大学との交換実習について	

改善した項目

6. 教育資源	6.6 教育の交流
基本的水準	判定：部分的適合
特筆すべき良い点（特色）	
大学間国際交流協定に基づいて海外教育機関との協力体制が構築されている。	
改善状況	
上海交通大学医学院（中国）と部局間交流協定を締結し、臨床実習生の交換をはじめとする学生交流や学術交流が予定されている。	
今後の計画	
大学間国際交流協定に基づく海外教育機関との協力体制を強化していく。	
改善状況を示す根拠資料	
【資料23】 上海交通大学医学院：部局間交流協定	

7. プログラム評価

改善した項目

7. プログラム評価	7.1 プログラムのモニタと評価
基本的水準 判定：部分的適合	
改善のための助言	
課題として挙げられている「原級者（留年者）」数と国家試験合格率について、検討し対応すべきである。	
改善状況	
<p>1. 原級者（留年者）数に関する検討の結果、医学科専門科目の「再評価」制度を廃止し、不合格科目は全て『再履修』を必要とする制度に改正した。 ※新年度の学年別オリエンテーションで説明資料を配付の上、学生に周知。</p> <p>2. 原級者（留年者）の学修を促し、原級（留年）を繰り返さないよう、既履修科目ならびに次学年の未履修科目を聴講することができる制度を新設した。 ※新年度の学年別オリエンテーションで説明資料を配付の上、学生に周知。</p> <p>3. 6年生を対象に、国家試験合格率向上をはかる体系的集中講義「レビュー講義」を実施した。</p>	
今後の計画	
引き続き、課題として挙げられている「原級者（留年者）」数と国家試験合格率について、検討を重ねながら対応していく。	
改善状況を示す根拠資料	
<p>【資料12】オリエンテーション配布資料</p> <p>【資料24】再評価制度の廃止</p> <p>【資料25】原級者対象「次学年履修科目の聴講許可」制度</p> <p>【資料26】医学科6年生対象 レビュー講義</p>	

改善した項目

7. プログラム評価	7.2 教員と学生からのフィードバック
基本的水準	判定：部分的適合
改善のための助言	
教員と学生からフィードバックを系統的に求めて分析し対応すべきである。	
改善状況	
<p>1) 教員の教育活動を確実に評価することを目的とした「Webシステムを活用した授業評価アンケート」の本格運用を開始した。</p> <p>2) 教務学生連絡協議会の発足と定期開催を通じ、学生会がとりまとめた意見やアンケート調査結果が教員にフィードバックされる運営体制が整備された。</p>	
今後の計画	
教務学生連絡協議会を通じた連携を強化し、学生からのフィードバックを系統的に求めて分析するシステムの構築に努めていく。	
改善状況を示す根拠資料	
<p>【資料14】 Web出席確認・授業評価__操作説明（教員用）</p> <p>【資料27】 教務学生連絡協議会</p>	

改善した項目

7. プログラム評価	7.2 教員と学生からのフィードバック
基本的水準	判定：部分的適合
改善のための示唆	
学生と教員からフィードバックを系統的に求めた上で、その結果を確実にプログラムの改善につなげることが望まれる。	
改善状況	
教務学生連絡協議会において、学生会主体で実施された「新型コロナウイルス感染防止策についてのアンケート集計（実習生版）」が報告され、集計結果をもとに感染防止策の改善がはかられた。	
今後の計画	

教務学生連絡協議会を通じた連携を強化し、学生からのフィードバックを系統的に求めて分析するシステムの構築に努めていく。
改善状況を示す根拠資料
【資料28】 新型コロナウイルス感染防止策アンケート集計結果 実習生版

8. 統轄および管理運営

改善した項目

8. 統轄および管理運営	8.3 教育予算と資源配分
基本的水準	判定：適合
カリキュラムの実施に必要な資源を配分し、教育上の要請に沿って教育資源を分配しなければならない。	
改善状況	
新型コロナウイルス対策のための予備費を計上し、附属図書館医学分館の要望を受けて、感染防止と学習環境を改善する「デスク用パーティション」を設置した。	
今後の計画	
今後もカリキュラムの実施に必要な資源を配分し、教育上の要請に沿って教育資源を分配する。	
改善状況を示す根拠資料	
【資料29】 予備費執行計画	

改善した項目

8. 統轄および管理運営	8.4 事務と運営
基本的水準	判定：適合
改善のための助言	
教育プログラムに関連する活動を支援するため、事務組織および専門組織を適宜、整備すべきである。	

改善状況
教育プログラムに関連する活動を支援する事務組織「学生支援課」(旧)を『医療人育成課』に、専門組織「医療人育成支援センター」(旧)を『医療人育成推進センター』に改組し、教育プログラムの実践に関わる運営体制を強化した。
今後の計画
今後も教育プログラムの実践に関わる事務組織および専門組織の整備に取り組む。
改善状況を示す根拠資料
【資料30】 学生支援課及び医療人育成支援センター名称変更 【資料31】 宮崎大学医学部事務組織の見直しに伴う医学部関係規程等の整理に関する規程

改善した項目

8. 統轄および管理運営	8.5 保健医療部門との交流
基本的水準 判定：適合	
特記すべき良い点（特色）	
宮崎大学、宮崎県医師会、宮崎県および宮崎県内の自治体が構成機関となり、宮崎県地域医療支援機構を設置し、情報共有、相互交流を行い、医師のキャリア形成支援や医師不足病院の支援などを行っていることは評価できる。	
改善状況	
1) 宮崎県および宮崎県教育庁、宮崎県医師会と「宮崎県内医師確保に向けた協定」を締結した。 2) 宮崎県キャリア形成プログラムの策定、円滑運用を含む「宮崎県医師養成・定着推進宣言」を発出した。	
今後の計画	
今後も宮崎県および宮崎県内の関係機関との連携・協力体制を強化していく。	
改善状況を示す根拠資料	
【資料32】 医師養成・定着推進宣言	

9. 継続的改良

改善した項目

改善のための助言
教育組織の更なる充実を図り、継続的な改良を進めるべきである。
改善状況
新たに医学教育分野別評価推進委員会を設置し、各委員会が協働した継続的改良に取り組んでいる。
今後の計画
今後も教育組織の更なる充実を図り、継続的な改良に取り組む。
改善状況を示す根拠資料
【資料33】 医学教育分野別評価推進委員会規程

以上